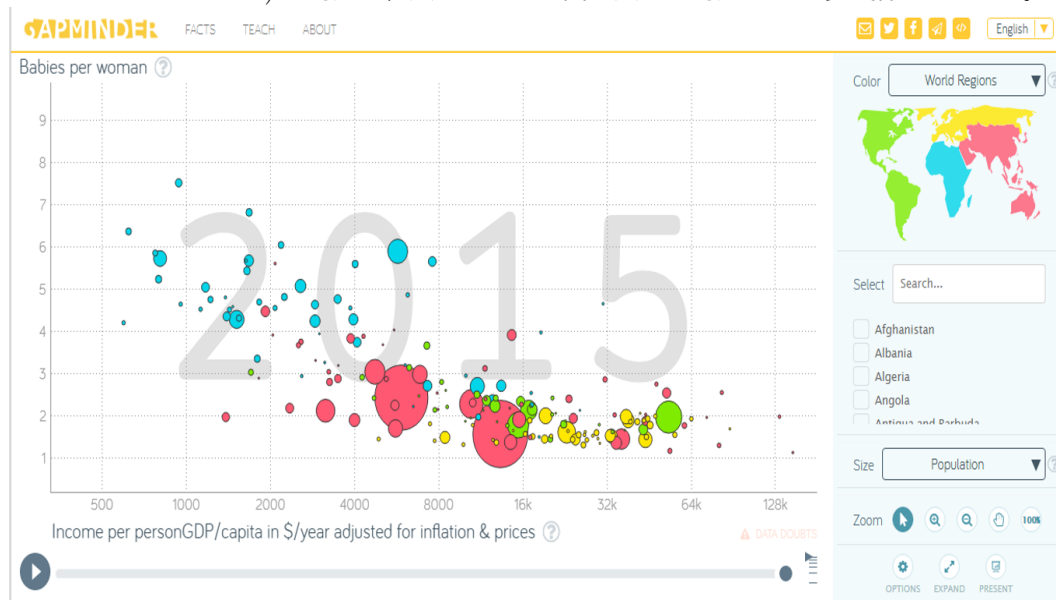


3 Gapminder

スウェーデンの公衆衛生学者ハンス・ロスリングは、先入観にとらわれず、データで世界の現状を理解することが大切であると考え、自らデータをグラフ化するツールを開発した。今では、“Gapminder”として認知され、広く使われている。このツールは、ウェブ上で動作するために、誰でも利用することができる³。

下の図は一つのグラフの例である。横軸には、国民一人当たりの GDP（単位はドル/（人・年））をとっている（詳しくはウェブの説明を参照のこと）。豊かさを表す指標と考えてよい。ただし、数値に気をつけよう。横軸では2倍ごとに等間隔になっている。こうした軸のとり方は対数目盛と呼ばれていて、よく用いられるので、どこかで改めて学ぶべきである。縦軸には、女性が一生で産む子供の数をとっている。2015年の各国のデータをプロットしてある。ここで、色は地域（例えば赤はアジア・オセアニア）に対応し、大きさはその国の人口に対応するように描かれている。



質問

1. 世界で人口が最も多い国は中国である。中国に対応するプロットを探して、中国の女性一人当たりの子供の数と、国民一人当たりの GDP のおおよその値を答えなさい。
2. 「貧困地域で子供が貧困によって死ぬのは世界人口が爆発的に増えるのを抑える働きがある。そこで、道義的にはともかく、貧困に地域に支援をせず、貧困のままにするのが良い。」という意見があったとしよう。この図は、その意見に反対するための材料として使うことができると考えられる。具体的にこの図で、どのように反論するか。考えて書きなさい。
3. Gapminder の使い方を調べて、自分なりのグラフを作成し、自分の中の固定観念がどのように変わったのか、述べなさい。

³Gapminder <http://www.gapminder.org> 最終アクセス 2017 年 9 月 13 日